



JASDAQ

2019年5月24日

各 位

会 社 名 株式会社 イメージ ワン
代表者名 代表取締役社長 新井 智
(JASDAQ・コード2667)
問合せ先 執行役員管理部長 野村 真一
(TEL 03 - 6233 -3410)

核医学検査の「医療被ばく線量」と医療画像の「画質」を最適化する
医療被ばく線量管理システム「onti」の販売開始に関するお知らせ

当社は、製造元である株式会社 RYUKYU ISG（本社：沖縄県那覇市 代表取締役：石垣 陸太）と独占販売権を持つ販売代理店契約を締結し、核医学検査の「医療被ばく線量」と医療画像の「画質」を最適化する医療被ばく線量管理システム「onti」の販売を開始いたします。

厚生労働省は、医療機関に対する医療被ばく線量管理の義務化を 2020 年4月から実施することを決定しておりますが、当社が6月から販売を開始する医療被ばく線量管理システム「onti」は、国内唯一の核医学検査の線量管理が可能となる医療情報システムです。

核医学検査は、放射線薬剤を体内に投与し、疾患の診断および治療を行う医療分野となりますが、「onti」には、画質評価の物理学的指標とされる被検者雑音等価計数（NEC）を自動算出する機能が搭載されており、また投与量と画質指標とのバランスを医療従事者が把握できることで、最適な薬剤投与量のコントロールと効率的な管理が可能となります。

「onti」は、国際的な DICOM 規格（※）に準拠して開発されており、また医療被ばく管理に利用される Dose SR（※DICOM RDSR or RRDSR）にも対応しておりますので、病院ネットワークとの接続により速やかな利用開始が可能です。

当社は今後とも、患者様の安心・安全の最大化および医療従事者を支援し、IT 医療を通じ健康な長寿社会の創造に貢献してまいります。

※注記 DICOM 規格・・・放射線部門システムで用いられ、動画を含む医用画像・検査情報データの規格および、それを通信・印刷・保存・検索するための国際標準規格
RDSR・・・・・・被ばく線量構造化レポート
RRDSR・・・・・・核医学検査装置等から出力されるレポート

以 上